

参加した虎塚らとハイタッチを交わすワイデンフェラーさん。蟹江町新千秋の希望の丘広場フットサルコートで



元ドイツ代表選手と練習

蟹江少年サッカー選手が交流

サッカーのドイツ・ブンデスリーガ、ドルトムントで活躍した元ドイツ代表GKのロマン・ワイデンフェラーさん(左)が十三日、蟹江町新千秋の希望の丘広場フットサルコートを訪れ、近隣の少年サッカー選手たちと交流した。

ワイデンフェラーさんは二〇一四年のW杯でドイツが優勝した時のメンバー。すでに現役引退しているが、クラブでは一八年W杯日本代表の香川真司選手や、現名古屋グランパスのランゲラック選手と一緒にプレーしたことがあ

る。

この日は参加した小学生約三十人に交わり、バス練習や紅白戦でプレー。得点を決めた選手に駆け寄って笑顔でハイタッチを交わした。PK練習では三回ほど

の距離からのシュートを止める場面もあった。

ブンデスリーガのGKを目指しているという飛鳥学園飛鳥小一年の久野翼君(左)は「背が高くて手も大きかった」と驚いた様子。

ワイデンフェラーさんは「この子も技術が高く、良いシュートを持っている。きっとこの中からプロ選手が生まれると思う」と話していた。

ワイデンフェラーさん

は、蟹江町など全国二十五カ所でサッカー教室を運営するドルトムント・サッカーアカデミー(東京)の招きで来日した。同教室には全国で約四百人の受講生がいる。(大野雄一郎)